

小学6年生、中学3年生、高校3年生は受験に向けて勉学に励んでいます。これからが彼らにとって本当に不安で苦しい日々になりそうですが、そのつらい時間こそが学力が真に身に付く大切な時であります。中3生はMトレに参加する生徒も増え、長い時間塾にて勉強をしています。夜になると夕食の買い出しに行って、塾長の部屋で楽しそうに食事をし、再び教室に戻って8時過ぎまで勉強をしていくのです。明正では、何時間勉強しなさいと言ったことがありません。生徒自らが学び始めるのを待つ、決して強制をしない。食事勉強も同じで、お腹が空いたから食べる、学びたいから勉強をするという、単純な原理がいいと思っています。ただ、テストが無いと人はなかなか勉強しないものですね。そこが食事と少し違うところであります。

一方、高3生の中で早々と推薦入試で合格を手にした生徒達があります。県立看護に合格した二人は、学校の成績が大変よく、三年間真面目に勉強してきた生徒です。学年では常に10番以内だったそうです。二人は明正のブロードバンド予備校で自分の苦手科目を受講し、勉強していました。また、ある生徒から受験科目を国語と数学のどちらで受けるべきかの相談を受けました。彼は両方の科目が苦手で、受験まであと三か月しかないとのこと。短期間で点数を上げるのなら国語にしようかと指導しました。彼はブロードバンドの現代文の基礎編を受講したところ、学校のテストでも国語が解けるようになったと嬉しそうに報告してくれました。そして、その結果、受験本番も国語が良くて良かったらしく、国語で合格を勝ち取ることができたということです。

ブロードバンド予備校の授業は、映像による授業です。映像授業は一方通行なのでライブ授業にはかなわないところがありますが、明正では国語や社会、生物等のライブ授業が無いので、この映像授業で補うしかありません。しかし、この映像授業も真剣に受けて頂ければ、当然効果が表れます。それも苦手科目は基礎編からがいいと思います。くどいようですが、基礎が肝心要なのです。残りの時間が少ないからと諦めるのではなく、とにかく焦らずに目の前の課題をしっかりとこなしていくことが大切です。

新しく迎える年が、受験生にとって、そして明正生にとって、良い年でありますように。

連絡事項

2月1日(金)より、新中学一年生のコースがスタートします。
お知り合いにお探しの方が見えたら、是非ご紹介ください。

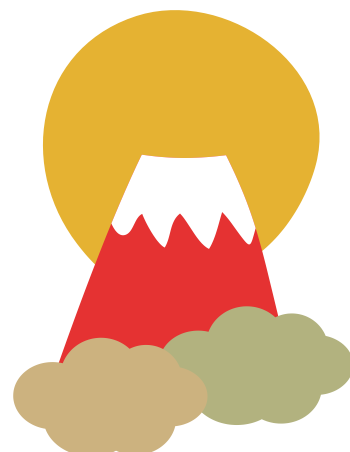
英検

1月27日(日) 準2級・4級 10:00

3級・5級 13:30 2級 14:30

※毎回、申し込んだのに受けに来るのを忘れる人がいます。

申し込んだら、ちゃんと受けに来ましょう。



子曰く、朋有り遠方より来る、亦た楽しからずや。

「道を同じくする友達が遠方よりやってきて、学問について語り合う、これはなんと楽しいことではないか」

年末、卒業生である今岡翔平君が明正を訪れた際、二人の友達を連れてきてくれました。彼が所属する団体、アラーレのメンバーです。アラーレとは、その人の価値を見だし、育て、その価値を強みとして確立できるように手助けをする、そして皆が自己肯定できる世の中を作ることを目的とする団体だそうです。主に、各自が育んできた専門的知識や能力を活かし、各分野の講師として授業形式で発表を行う、という活動をしているそうです。

今回来てくれた内の一人は、東京大学工学部を卒業し、東大大学院修了後は半年間スイスに留学をし、現在製鉄メーカーに勤務している桐生君です。理系でありながら話すことが上手で、また分析力に秀でていて、物事を系統だて内容をまとめる能力にも長けている、魅力に溢れた人でした。もう一人は、的場陽子さんです。彼女は以前明正に来て私の授業を見学して、教育について語り合ったことのある人なのですが、明正のことを気に入ってくれている一人であります。彼女は大阪大学を卒業後、ベネッセに就職していたのですが、転職し、今は島根県の隠岐の小さな離島である海士町^{あま}にて先生をしています。大都会である東京での生活から、コンビニもない、農業と水産業が主体のわずか人口 2,300 の島へと移住したのです。彼女がその生き方を選んだのは、私達日本人が有する一般的価値観とは全く異なった価値観が彼女に芽生えたからだと思います。

原発事故が起きたのにも関わらず、日本経済のためにと再稼働へ動き出す経済理論。法律は人が健全に生きていくための道具であるはずなのに、その法により人が苦しめられている気がしてなりません。世界中の経済が破綻しそうな世の中において今までの価値観を変える必要がある時代だと感じています。資源の貧しい日本において、第一次産業をしっかりと健全なものにすべきで、そうすることで自然への感謝が生まれ、また、畏敬の念も自ずと生まれる世界となりましょう。海士町はそのお手本となるべく姿を実践しています。



今回若い人達が日本の将来を考え、そして実際に行動を起こしていることを知り、深く感銘を受けました。口だけは達者で行動を伴わない私には、彼女がまぶしく見えました。

遠い島で頑張っている陽子さん。新しいことを始めるということとはつらいこともあるでしょう。泣きたくなることもあるでしょう。頑張りすぎて心が折れそうな時は、明正に遊びに来てくださいね。

連絡事項

4月27日(土)にアラーレの面々が明正に来て授業をしてくれることになりました。その日は全授業が休講とし、全学年、並びに塾外生まで対象の授業となります。もちろん御父兄や一般の方も参加いただければ幸いです。何か志を見つけるきっかけとなってくれればと願っています。

勉強をするために試験があつて欲しいのに、試験のためにだけ勉強をする生徒が多くなっている気がします。試験が済むとパツパツと勉強しなくなってしまうのですよね。高校の授業でも、大学入試で自分の受験に必要な科目は真面目に授業を受けるのですが、必要でない科目の授業になるとそれはひどい態度で受けている。かくいう私も高校生の時そんな調子でした。若い時は目先のことや目に見えるものに反応してしまい、遠い先のことや目に見えないものには考えが及ばず、ひたすら自分の利だけを考えて行動していた気がします。

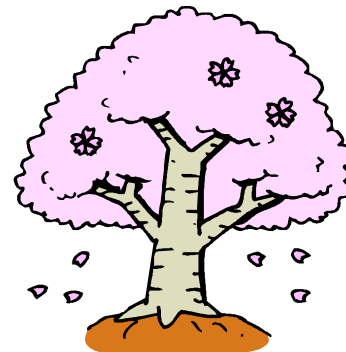
だから私は若い時の自分が嫌いなのです。今年老いて、時々、若い頃に戻りたいとも思う時もあるのですが、あの頃の自分にはなりたくないの、やっぱり今の方がいいやと思ひ直します。

とにかく受験って嫌なものですよね。まず寒い冬にあるのですから、風邪もひきやすいでしょう。昼も薄暗くて、心も晴れませんでしょう。一番つらいのは、合否が出ることです。一点差でも合格不合格となつて判定が出るのです。一点の差は学力的には差が無いに等しいのですが、合格者と不合格者の心の状態も、周りからの扱いも雲泥の差となつて表れてしまいます。塾の先生としては失格かもしれませんが、不合格だった生徒こそ励ましてあげなければとつくづく思います。合格できなかった自分を恥ずかしいと感じ、気が滅入ってしまうでしょう。自分はだめな人間であると勘違いしてしまうでしょう。そう、それは勘違いなのです。人生はこれで終わりではないのです。勉強をやってきたことは正しいことなのです。これからも正しいことをやり続けられればいいのです。

合格した生徒もそうでなかった生徒も、私が大切に思っている生徒なのです。

私立中学校合格者

谷川 茶由	晩中学校	二村 未羽	新海 奈々	高井 康平	鹿爪 勇希	鈴鹿中学校	谷川 茶由	鈴鹿中学校	倉進 達也
-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



論語コンクール入賞者

子曰わく、故きを温ねて新しきを知らば、以て師為るべし。 中一 坂口 達郎	子曰わく、性相近し、習相遠し。 中一 佐野 文弥	巧言令色鮮きかな仁 中二 川出 真歩	子曰わく、君子は言に訥にして行に敏ならんことを欲す。 中二 柳木 将太	子四つを以て教う。文行忠信。 中二 新海 真依	子貢、君子を問う。子曰わく、先ず其の言を行ひ、而る後之れに従う。 中三 山内 優佳
---	-----------------------------	-----------------------	--	----------------------------	--

連絡事項

2月11日(月)は祝日ですが、中学1年、3年は通常通り授業を行います。高校生クラスはお休みです。

2月 9日(土) 漢字検定 受験者は必ず忘れずに受けに来ること。

子ども達のいじめの問題から、今度は先生の体罰問題。次から次へと暴力的な行為が明るみになっています。日本国中がストレス状態で心が病んでいるのでしょうか。結果至上主義からくるプレッシャーからか、スパルタ指導をよしとする世界、そこでは選手の希望や考えを聞き入れることは否定される。これではまるで昔の軍隊のようだと感じます。選手が将棋の駒で、監督の思うまま動かされる、やっぱり人間は駒では生きている価値がありませんよね。自分で考えて練習したいですよね。

明正では、宿題を10回やってきたら、ノートや色ペンをご褒美として生徒に進呈することにしています。塾に与えられた時間は学校に比べて非常に少ない時間なのです。だから最低限、宿題をやってきてほしいのです。色々な手を尽くして宿題をやってくるように仕向けているのですが、宿題をやってくる生徒とそうでない生徒に分かれてくるんですよね。それがテストの結果にはっきりと表れています。

それでは、1月号のテスト結果を発表します。また、中1の田岡奈々さん、平野茉佑さん、中2の竹島樹くんが成績優秀者リストに名前が載りました。日々の努力のたまものですね。おめでとう。

1月号テスト結果

<中学1年>

	名前	英	数	国	理	社	計	偏
1	田岡 奈々	96	92	96	91	92	467	65
2	平野 茉佑	95	92	94	88	94	463	64
3	坂口 達郎	92	100	80	80	88	440	62
4	北澤 葵	95	88	74	72	82	411	59
5	坂部 真菜	93	92	90	70	64	409	59
6	安藤 有紀	94	92	86	61	71	404	58
7	川本 拓海	89	80	64	66	80	379	55
8	高井 菜々子	92	88	84	55	59	378	55

<中学2年>

	名前	英	数	国	理	社	計	偏
1	竹島 樹	92	86	80	84	94	436	68
2	野間 路代	84	90	80	80	70	404	64
3	下井 聖也	65	82	84	86	86	403	64
4	西井 大貴	79	87	86	70	67	389	62
5	中田 空	88	82	82	73	56	381	62
6	谷川 航	83	86	66	56	77	368	60
7	倉城 有稀	85	63	78	56	79	361	59
8	樋口 大介	69	82	60	65	77	353	58
9	麻生 沙里	88	64	84	46	68	350	58

<中学3年>

	名前	英	数	国	理	社	計	偏
1	糸川 章吾	80	65	72	82	69	368	61
2	原田 梨乃	61	63	74	83	80	361	60
3	山内 優佳	62	50	74	94	76	356	59
4	渡邊 篤輝	67	73	64	75	75	354	59
5	村山 友太	71	69	58	77	61	336	57
6	北澤 楓袈	73	60	51	77	60	321	55
7	池田 美結	67	46	64	62	80	319	55

<小学5年>

	名前	国	算	理	社	計	偏
1	中野 雄斗	60	86	94	80	320	62
2	西川 琴美	68	69	88	88	313	61
2	江藤 月菜	52	86	83	92	313	61
4	旭 将太郎	54	93	88	76	311	61



高田高校と鈴鹿高校を受験した生徒全員が合格してくれました。まずは私立で良い結果を出してくれて一安心しています。ただ、今年も、学校の先生の勧めからか県立高校の前期選抜を受けた生徒がいました。工業高校や商業高校は面接と作文なので挑戦する価値はあるのですが、津西国際、神戸理数、津東Sクラスは英語と数学の二教科の試験が課され、特に英語が完璧に仕上がっている生徒でないと合格できません。倍率が4～5倍ある津西国際の場合、合格ラインが二教科(英語 50 点 数学 50 点の計 100 点満点)で 75～80 点がボーダーラインです。計 80 点を取るには、例えば英語が満点近くの 48 点、数学は毎年問題が難しいので、ほとんどの生徒が 30～35 点の間におさまリ、計 78～83 点となります。これで合格ライン到達となるのです。

私が言いたいのは、私立受験の後には県立後期選抜の記述試験に向け、やらなければならないことがたくさんあるのに、合格の可能性が低い生徒が前期選抜を受けることで、その貴重な時間が削られてしまい、結果的には後期試験への対応に遅れを取ってしまうということです。前期選抜について、生徒達には何度も話をいたしましたが、なかなか聞き入れてもらえません。受験に関して、子どもはかなりの情報が蓄積されていて、指導に自信があるのですが、ただ、彼らは受験後、しっかり頭を切り替えて理科社会に精を出してくれているので、大丈夫だと信じています。

それでは、県立前期、私立高校の結果を発表します。

県立高校前期選抜合格者

島内 茉莉	四日市 農芸高校	小川 萌未	(情報処理科)	四日市 商業高校	北澤 楓絮	(Sクラス)	津東高校	県立高校 前期選抜合格者
-------	----------	-------	---------	----------	-------	--------	------	-----------------

高田偏差値
ボーダー
Ⅱ 類数理: 55
Ⅱ 類文理: 48
Ⅰ 類: 40

私立高校合格者

山 川 知 寿	佐 野 裕 矢	越 智 綺 音	小 川 萌 未	村 山 友 太	村 田 晟 也	草 川 穂 香	磯 本 蓮	渡 邊 篤 輝	山 内 優 佳	原 田 梨 乃	中 村 汐 里	関 戸 有 紀	糸 川 章 吾	池 田 美 結	高田高校 合格者	私立高校 合格者
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-------------	-------------

関 戸 有 紀	中 村 汐 里	女子学園高校	セントヨセフ	島 内 茉 莉	近 藤 帆 夏	後 藤 優 弥	越 智 綺 音	北 澤 楓 絮	山 川 知 寿	村 山 友 太	村 田 晟 也	佐 野 裕 矢	草 川 穂 香	磯 本 蓮	山 内 優 佳	鈴鹿高校
---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-------	---------	------

3月20日(水)は祝日ですが全クラス通常授業があります。ステップラーニング、Mトレもあります。

3月26日(火)～31日(日)まで、明正の春休みとなり、全クラス授業がありません。

3月26日・27日は自然教室です。

塾で受けているテストの偏差値によって、ある程度県立高校の可否の目安を知ることができます。ただ、偏差値が高い生徒でも不合格になるのは簡単であります。私立高校後の約一か月半をいい加減に過ごした生徒は合格できません。一生懸命勉強しても残念ながら不合格になることもあるのですから、とにかくこの時期は一途に勉学に打ち込んで欲しいのです。ところが、数学の作図や理科の記述問題を宿題に出しても、何人かの生徒はやってこないのです。一番頑張らなければならない時期に宿題すらやってこない。去年もそうだったのですが、そういう生徒は合格する気が無いのかと思います。このことを取って塾だよりを書くのは、後に続く後輩の為であります。特に新中学三年生の授業を受ける態度が悪いのです。彼らは高校へ行く気が無いのだろうかと思ってしまう。

去年9月に保護者面談をして、高校受験に対する現状と対策を指導いたしました。学校の先生の指導に従って前期試験を受けることの不利益や、私立の後、いかにやらなければならないことが多いかを説明しました。ただその面談も希望者のみで行ったため、参加した中3生の保護者は数人だったのが残念であります。とにかく試験に向けて、全力で努力しなければ、合格は手にすることができませんよね。それでは国公立高校の合格者を発表します。

国公立高校合格者

鈴鹿国立 高等専門学校	池田 美結	四日市高校	佐野 裕矢	津東高校(普通科)	北澤 楓絮	津東高校(Sクラス)	関戸 有紀	磯本 蓮	糸川 章吾	津西高校(普通科)	原田 梨乃	山内 優佳	津高校
----------------	----------	-------	----------	-----------	----------	------------	----------	---------	----------	-----------	----------	----------	-----



島内 茉莉	四日市農業高校	小川 萌未	四日市商業高校	山川 知寿	近藤 帆夏	亀山高校	村山 友太	神戸高校(普通科)
----------	---------	----------	---------	----------	----------	------	----------	-----------

私が考え特注した将棋、囲碁のテーブルを中庸の木の横に設置いたしました。みんなで仲良く競ってください。

4月27日(土) アラーレの授業

※ステップ、ことばを含め、授業は全て休講です。ご家族の方もお気軽にご参加ください。

4月29日(月)、5月3日(金)～6日(月)は休塾です。

※5月6日は高校生クラスのみ通常通り授業を行います。



明正ゼミナールのHPも随時更新中です。塾だよりのバックナンバーやイベントの写真なども見られますのでチェックしてくださいね。「明正ゼミナール」で検索してください。

昨年、国公立大学に19名もの生徒が合格をいたしました。彼らは学校より塾を頼りにしてくれて、進路のことや勉強の仕方などを私達によく相談をしては、素直に実行に移してくれました。学校は生徒の将来の希望を聞くのではなく、国公立大学へ何人合格させるかということに躍起になっています。それは、とりまなおさず学校の利となることに主体を置いているからでしょう。しかも授業内容としては、国立の二次試験をクリアできる実力にまで高めるに至っていないのが現状であります。そのことを知っていた昨年の生徒達は、国立理系希望者なら木根先生の数学、化学、物理の授業と北御門先生の授業を高1時から受けていましたし、また、国立文系の生徒なら北御門先生の英語は勿論のこと、高3時には木根先生のセンター数学、そしてライブ授業のない科目はブロードバンド予備校にて国語、日本史、世界史、生物などを受講することで、合格を手にしていました。その中の、名古屋大学に合格した今岡麻子さんと上智大学合格の若林親正くんの合格体験記が、ブロードバンド予備校のパンフレットに載りました。そのコピーを同封しますので、読んでみてください。

今年の高3生もよく塾へ来て自主勉強をしていました。ただし少し悔いが残るのは、私どもより学校を信頼している生徒が多かったことです。英語だけを受講して、あとは自習室として塾を活用する、私立文系が第一希望であるならそれでいいのですが、国公立大学を希望している場合、センター試験をクリアし、二次の記述もクリアする為には、独学では厳しい気がいたします。私どもは生徒の希望に応じ、常に最善の指導を心掛けています。君達も、時間を見つけて、明正の先生や私に相談してください。

大学合格者

(国公立大学は青色)

打田 知里 (ビジネス学部)	愛知大学 (経済学部)	愛知淑徳大学	三重県立看護大学	浅井 葉里	三重県立看護大学	大西 花観	三重大学 (人文学部)	同志社女子大学 (現代社会学部)	四日市看護医療大学	米田 恵里奈	皇學館大学 (文学部)	岡安 真里	小川 優子	四日市看護医療大学	皇學館大学 (教育学部)	片岡 千佳	神戸学院大学 (薬学部)	昭和大学 (薬学部)	東海大学 (文学部)
佐藤 正和 (生命医科学部)	同志社大学 (生命医科学部)	野間 千鶴 (現代国際学部)	名古屋外国語大学	原田 俊紀	神戸大学 (文学部)	駒澤大学 (文学部)	明治大学 (文学部)	立命館大学 (文学部)	同志社大学 (文学部)	小野 朱可	三重大学	愛知大学 (経営学部)	南山大学 (経営学部)	立命館大学 (経営学部)	伊達 麗加 (文学部)	神戸松蔭女子学院大学 (文学部)	佐藤 悠	愛知大学 (経済学部)	早稲田大学 (商学部)
近藤 明穂	三重県立看護大学	石川 翔也	四日市看護医療大学	松葉 綾乃 (表象文化学部)	同志社女子大学 (文学部)	神戸松蔭女子学院大学 (文学部)	静岡大学 (工学部)	関戸 和也	小林 一彰	大阪府立大学 (工学部)	同志社大学 (理工学部)	立命館大学 (理工学部)	神奈川大学 (工学部)	杉田 真由佳 (国際コミュニケーション学部)	愛知大学 (外国語学部)	南山大学 [奨学生合格]	聖徳学園大学 (教育学部)	名古屋女子大学 (教育学部)	皇學館大学 (教育学部)

5月より、講座 No.7,10の高校化学と物理がスタートいたします。希望者は早めにお申し込みください。



「年々歳々 花 相変わらず、歳々年々 人 同じからず」

花は毎年同じように咲き誇るのに、それを見ている人は同じではない。悟りを得た人というのは花を見て、かくも奥深い言葉が出てくるものだと感心します。凡人は花を見て美しいなどは感じるのですが、人の世の移り変わりや時の流れを感じたりはしないものですよね。

先日、父の十三回忌の法要をいたしました。早いもので父が亡くなって十二年にもなり、私の人生の中で父がいない時間がどんどんと増え続け、父のいない生活が当たり前の状態となっています。毎朝仏壇に手を合わせ、先祖に感謝しているのですが、生きているときにどれだけ感謝の念を父に持っていたかという疑わしいものです。

父と母が住み慣れた故郷の金沢から、この亀山に越してきてくれたのが十六年前のことです。その時、父は金沢の庭にあった樹木や庭石の一部を亀山に持ってきて、自宅の玄関前の敷地に小さいながらも日本式の庭を造りました。私はその頃、芝生に憧れていて、内心はこんなもん持ってこんといてほしかったと思っていました。その上、鉢に植えられていた藤の木を、私が知らないうちに庭の片隅に植えてしまったのです。藤はつるが伸び、他の樹木にからまりつきながら成長する木なので、やっかいなことだと思っていた。一旦地面へ植えたものをまた元の鉢に戻すわけにもいかず、庭師にお願いをして横に細長い藤棚を造ってもらったのです。その藤は十数年前の時を経て、多くの花を咲かせるようになりました。

今では、毎年この時期になると藤の木が良く見えるようにと、葉を間引くのが私の仕事となりました。更に、5月の連休には藤見会なるものを開催し、全国へ巣立っていった卒業生を集わせてくれるという大切な役割も果たしています。

例年、5月の連休に満開となる藤の花ですが、今年はいつもより早くに満開を迎えました。あたかも、父の命日の四月二十一日に間に合わせるかのように。

連絡事項

漢検

6月1日(土) 10:00～, 14:00～, 21:15～ (テスト時間はどの級も一時間)

英検

6月9日(日) 4級・準2級 10:00～, 5級・3級 13:30～, 2級 14:30～

坂本龍馬が勝海舟に面談をした際、一瞬にして勝の虜になったと言われています。幕府の役人でありながら、そのしがらみにとらわれない考えや、今なすべきことは何なのかを教えられ、龍馬は視界が開けたのでしょ、その後日本国の改革にまい進していきます。勝が言った「人は力で動かすものではなく、心で動かすものです」という言葉が印象的です。



本当に人は心で動き、また人は人によって変わるのだとつくづく思います。去る4月27日にアラーレの特別授業が行われました。東京から亀山までの交通費は自己負担、授業に対しての報酬はありません。平日は仕事に精を出している彼らにとってせっかくの休日にもかかわらず、中途半端な田舎である亀山へとはるばる足を運んでくれました。私が二十代の頃には、彼らのような活動は絶対にできませんでした。だから私にとって彼らは衝撃的であり、驚愕なのであります。どうしてそんなに積極的になれるのか。初対面の人であろうが、初めての土地であろうが、臆することなく行動を起こしていく。そして彼らには笑いもあり、熱き想いもありました。授業後、生徒達も交えて食事会をしたのですが、「将来は実家がお寺なのでそこで寺子屋的な塾を開きたい」とか、「日本を変えたい」とか、いろいろな話で盛り上がりました。積極的な人と接していると、こちらも積極的になるし、何より楽しいのです。生徒達の中にも彼らに感化されたのか、変化が現れました。食事会の時に、自分も何か手伝えることが無いかと私に申し出てきたり、目標を持って勉強を頑張ろうと決意した生徒であったり、まさに受け身から能動へと変化していく様子をはっきりと目の当たりにしました。生徒に熱き思いを抱かせてくれたアラーレの面々、そして彼らを明正に導いてくれた今岡翔平くんに心より感謝します。



連絡事項

全国模擬テスト

6月3日(月)～8日(土)の授業中に小学生、中学生の全国模擬テストを実施します。終了時間は、通常授業と同じです。

漢検

6月1日(土) 10:00～, 14:00～, 21:15～ (テスト時間はどの級も一時間)

英検

6月9日(日) 4級・準2級 10:00～, 5級・3級 13:30～, 2級 14:30～



最近、暗いニュースが多いんですね。毎日のように殺人事件があり、その動機にしても「そんな理由で」と耳を疑うようなものがほとんどです。その他にも、老人を狙った振り込め詐欺の犯罪や、スポーツ界の体罰やセクハラ問題…。人が人を信じられない時代、強いものが弱いものをいじめる世の中。そんな世の中で人間の真の幸福感を得ることはできませんよね。

そう感じている中で、以前の塾だよりにも書きましたブータン国、こちらをお手本にした「幸せリーグ」なるものができたと新聞で知りました。物質的な豊かさや経済効率だけでなく、住民の「幸福実感」の向上を行政の目標にしようという全国 52 自治体の連合体であります。そのリーグになんと亀山市も参加しているではありませんか。三重県からは松阪市と亀山市だけで、さすが亀山市長、これから目指すべき行政が分かっていると感心しました。経済重視の現代、何から何までお金に換算され、採算の合わない一次産業はどんどん廃れていく。あの広大な土地と人口を抱える中国さえ、農民から農地を取り上げ、都市化する政策へと移っています。

だれも農業をやらなくなったらどうなるのでしょうか。日本も TPP で農業が壊滅状態になると言われています。それでなくても高齢化で休耕地が増え続けているのが現状です。これからは米 1kg がいくらとお金に換算するのではなく、例えば自分達が食べるお米は自分たちで作る、自然の恵みのあるおかげでこうしてこれだけの収穫があったことに幸せを感じる。そういう生き方もいいのではないのでしょうか。

また、幸せは人と人との間にあるもので、自分だけが幸せであればいいと思っている人は、それは真の幸せとは言えません。それこそが自己中心的であり、その人の周りの人々は不幸になっていきますから、人はその人から徐々に離れていくことになります。結果、その人は孤独となり、不幸となっていくのでしょうか。とにかく、大変身近なところから、将来に対して希望が持てる嬉しいニュースが飛び込んできてくれました。



連絡事項

7月15日(月・祝)は、全クラス休講です。

この日は塾を閉じますので、自習もできません。気を付けてください。

勉強にしてもスポーツにしても、真剣であるかは目を見ればわかるものです。考えているときの目、集中しているときの目、目にも表情があるので、授業中、黒板で説明した後、生徒の方を振り返ってみた瞬間、誰が真面目に聞いていたか、そうでないかは一目瞭然に分かるものです。その授業態度、勉強に対する姿勢ですが、特に受験生である中学三年生がひどいのです。

まず姿勢が悪い。授業中でも平気で男の子と女の子が無駄話をする。彼らが帰った後にはジュースの缶やお菓子の残骸が机の中に捨てられている。私は長い時間をかけて説教をしてきましたが、身に染み付いた悪い習慣はそう簡単には抜けません。明正では、今まで、どんな生徒であろうがこちらから退塾させたことはありませんでした。勉強をする姿勢を身に付けさせるのが私の役目と考えているからです。しかしながら、この大事な受験期の中学三年生であります。これだけ注意しても良くならないとなると、他の真面目に授業を受けている生徒の為に、塾を去ってもらわなければならないと考えています。とにかく塾は勉強をする場所なのです。勉強する気が無い生徒へ。親が汗水を流して働いて得た大切なお金を、ドブに捨てるようなことをしないでください。

さて、私は明正の恥をさらけだし、私の覚悟を話しました。それを聞いて、今までの自分を変える覚悟のある生徒は明正に残ってください。心が変われば行動も変わります。人も蝶のように脱皮する時が必要なのです。

それでは、6月号テストの成績優秀者を発表します。今回、中学一年生の赤塚遥さん、中学二年生の田岡奈々さん、平野茉佑さんの三名が成績優秀者リストに名前が載りました。日々の努力の賜物ですね。

尚、今回、中学生は、偏差値 55 以上、小学生は偏差値 60 以上の生徒の成績を発表いたします。

6月号テスト優秀者

<小学6年生>

	氏名	国	算	理	社	計	偏
1	三谷 智輝	66	94	82	69	311	62
2	井戸 優貴奈	84	79	62	75	300	60

<中学2年生>

	氏名	英	数	国	理	社	計	偏
1	田岡 奈々	94	84	88	97	91	454	64
2	平野 茉佑	88	88	92	88	94	450	64
3	坂口 達郎	90	80	86	89	91	436	62
4	安藤 有紀	89	80	80	73	86	408	58
5	川本 拓海	86	80	56	88	97	407	58
6	北澤 葵	82	72	84	82	74	394	56

<中学1年生>

	氏名	英	数	国	理	社	計	偏
1	赤塚 遥	100	84	94	78	75	431	61
2	新海 奈々	90	84	78	83	79	414	59
3	谷川 茉由	90	80	88	66	88	412	58
4	佐野 隼斗	67	96	74	89	83	409	58
5	鹿爪 勇希	88	96	74	84	51	393	56
6	村田 晨	92	80	72	62	77	383	55

<中学3年生>

	氏名	英	数	国	理	社	計	偏
1	倉城 有稀	62	73	78	91	89	393	64
1	下井 聖也	71	91	70	84	77	393	64
3	麻生 沙里	54	75	80	83	59	351	58
4	蔵城 映里奈	69	58	60	88	75	350	58
5	樋口 大介	47	81	66	84	71	349	58

中庸の木の

ブランコについて

人気のブランコを新しいものに取り換える予定です。今後、**体重が 35 kg 以下の生徒に限り使用可**とします。また、かなり乱暴にブランコに乗る生徒が増えていて、中庸の木が悲鳴を上げています。

枝が折れれば、君たちが悲鳴を上げることになります。そうならないように、心優しく乗ってください。

連絡事項

8月22日(木)午後2時～4時にて、落合小児科医院長 落合 仁先生の特別授業があります。

生徒は勿論、ご家族の方も興味のある方はご参加願います。

前回の塾だより、中学三年生の勉強態度について話しました。夏の特訓は午後の1時から5時までの4時間という長い授業で、私の担当の理科はその内の2時間です。生徒にとってはかなりきつい授業であり、なおかつ毎日、翌日までの宿題が出るという過酷なものです。

その特訓を全20日間、果たしてどうなるのかと心配していたのですが、彼らの授業態度が良くなってきたように感じます。授業で説明した内容をノートに書き写す作業にしても、きっちりできてきました。中にはほれほれするような素晴らしいノートが完成している生徒もいます。たまにはうるさくなくなりましたが、私が説明をストップして沈黙すると、生徒もその雰囲気を感じて静かになるようになりました。少しずつですが、勉強の姿勢は改善しています。

6年前に、明正で一年浪人をして京都大学に合格した明石香織さんの話をしました。彼女がどれだけ勉強をしたのかを、また、彼女の意志の強さを、そして、彼女の他への気配りの素晴らしさなどを。彼女が合格した時に、私は声をあげて泣いたことを。

人生、苦しいこともしんどいこともあるのです。それを乗り越える為には強い志が必要なのです。心が定まれば、良い行動が生まれ、良い行動の継続がよい習慣となり、良い習慣が良い人格をつくる。良い人格が良い運命をつくるのです。中3生、長く苦しい特訓を乗り切ったのですから、自信を持って、これからも良い習慣を身に付けてください。



連絡事項

9月16日(月)の祝日は、全クラス休講とします。

9月23日(月)の祝日は、全クラス通常通り授業を行います。

9月19日(木)小4・小6の9月号テストを実施します。

尚、**小6はその日30分延長の午後 7:00～10:00 となります**ので、お迎え間違いのないようにお願いします。

漢検・英検

<英検> 試験日:10月13日(日) **申し込み締め切り:9月10日(火)**

<漢検> 試験日:10月27日(日) **申し込み締め切り:9月18日(水)**

※受検希望者は**締め切り日までに現金を添えて**お申し込みください。

締め切り日を過ぎての申し込みは一切受け付けられません。

※各申し込み用紙は、塾玄関に揃っています。小中学生は、授業中に配布します。

小学生の受検率が増える一方、中高生の受検率が減ってきているのが残念です。

漢検・英検ともに、履歴書に書ける「資格」ですので、積極的に受けてください。

特に中3・高3生は受験前の最後のチャンスです。高1・2生も余裕のある内に受けてください。

8月22日に落合先生による特別授業を開催いたしました。今年は中学3年生、小学6年生に加え、他の学年の生徒や保護者の方も参加してくれましたこと、大変嬉しく思います。

今回の授業はワクチンの歴史についてお話しくだしました。天然痘ワクチンは1796年にジェンナーが発表



するのですが、その当時、牛の痘を人の体内に入れるということに批判が集中し、その効果を確かめることもなく、彼の論文は否定されてしまいます。彼はその後も研究を続け、彼の親戚にワクチンを投与し、天然痘が大流行した年にその親戚が天然痘にかからなかったことで、その効能を証明しました。それでようやく、「ワクチンを投与することにより、病原体を取り除き病気を治そうとする免疫を体内に作り出す」というワクチンの有効性が世間に認められた、というのです。発表から実に十年以上もの歳月が経ってからであります。

その後はワクチンによる予防学の研究が次々と進められ、狂犬病や日本脳炎、小児麻痺、インフルエンザなどのウイルスによる伝染病のワクチンが、多くの学者により開発されていったそうです。

1796年といえば、日本は江戸時代であり、その頃は電子顕微鏡もない時代。そんな時代に目に見えないウイルスを防ぐ研究がなされていたことに驚かされます。その発見が無ければ、いまだに人は伝染病に苦しめられ続けていたでしょう。

しかし、その偉大な発見であるワクチンの有効性を、私たち日本人はあまり重要だと認識していないようです。日本のワクチン接種率は、先進国の中でも非常に低くなっているということで、このことを先生は大変危惧しておられました。アメリカは、法律で接種を義務付けている上、自分だけの問題でなく、自分が感染することで他への迷惑をかけてはいけないという感覚があるそうです。

一方、日本では、国が予防接種による副作用で訴えられるのが怖いのか、非常に消極的になってしまっています。また、国民自身も予防接種の必要性への認知が低くなっています。ある自治体では、国からの補助金が出され、接種費用が無料になったにもかかわらず、対象者8,000人に対してたったの100人しか接種に来なかったという例もあるそうです。せっかく自治体が環境を整えてくれても、住民が認識の甘さからそこを活用しなければ意味がありません。今年も風疹が、特に都会で流行していますが、これは都会の人の接種率が20%以下という実態からして当然のことと言えるでしょうね。

国民がウイルスの怖さを知り、そのウイルスに免疫を付けることの有効性を知る、その知識を伝える機会や機関が日本に無いことを、落合先生は嘆いておられます。皆さんは知識を頂く機会を得たのですから、それを土壌として、絶えず学ぶ姿勢をとり続けてください。自分のために、周りの人のために。そして、将来の自分の家族のために。

今年も大変お忙しい中、ワクチン接種の啓蒙活動のために、こうして明正ゼミナールにて講義をしていただき、感謝いたしております。落合先生、貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。



道具は人が使うもの、生活が快適になるために利用するもの。なのに、その道具のために生き方を制限されたり、生き方を変えられたりしている。とどのつまり人間が道具に使われている、と感じる時があります。例えば携帯電話であります。国民の大半が常に片時も離さず持ち歩いているようです。トイレに行く時でも食事の時でも、寝ている時さえ枕元に置き、充電が切れるといけないので塾の授業中にでも塾のコンセントで充電する始末。授業と授業の合間や、授業の終わった後も、携帯でゲームをしたり、メールをしたり、電話をしたりと、ほんまに携帯依存症となっているなと感じます。友達にメールして、すぐに返事が返ってこないと嫌われているのではないかと不安になったり、四六時中連絡し合わない仲間外れになったのではないかと思ったり、伝える内容はどうでもよく、とにかく繋がっていないのが怖いのでしょうか。

でも実は、携帯で繋がっているかいないかが不安の根源ではなく、心がつながっていないのが不安の根源だと思います。友達とは何か、あるいは物事の考え方や生きる目的、人とは何か、自分とは何かが分かっていないために、不安なのです。その不安を取り違えているため、逃げ場として携帯に向かっている気がします。私は携帯を持っていませんが、ちゃんと生きています。不安はそりゃありますが、携帯を持っていないという不安はゼロであります。皆も物に支配されていないかチェックしてみてください。また、テストも勉強するためのひとつの道具であり、テストのために勉強するのではなく、自分の理解できなかった箇所を知るためのもの、他との比較をするためのものでもありません。ましてや人をうらやんだり、さげすんだりするものではありません。ひたすら自分の学力向上のために利用してください。

それでは、8月のテスト結果を発表します。中学2年生の平野茉佑さん、坂口達郎さん、田岡奈々さんの3名が成績優秀者リストに名前が載りました。おめでとうございます。

8月号テスト結果

<中学1年生>

	氏名	英	数	国	理	社	計	偏
1	新海 奈々	88	96	70	89	79	422	60
2	谷川 茉由	95	80	82	79	85	421	59
3	佐野 隼斗	80	68	78	94	91	411	58
4	村田 晨	84	72	82	81	91	410	58
5	尾張 未怜	98	60	82	83	70	393	56
6	鹿爪 勇希	90	80	76	68	66	380	55
7	田中 駿哉	69	56	76	85	92	378	55

<中学3年生>

	氏名	英	数	国	理	社	計	偏
1	下井 聖也	88	63	75	89	92	407	65
2	倉城 有稀	81	76	70	89	84	400	64
3	蔵城 映里奈	87	47	86	73	80	373	61
4	麻生 沙里	88	52	76	80	75	371	61
5	岩間 伸圭	74	55	66	75	74	344	57
6	安藤 優麻	75	51	68	77	70	341	57

<中学2年生>

	氏名	英	数	国	理	社	計	偏
1	平野 茉佑	100	96	96	74	91	457	66
2	坂口 達郎	94	88	92	88	91	453	66
3	田岡 奈々	87	92	94	88	91	452	66
4	高井 菜々子	92	92	92	72	79	427	63
5	川本 拓海	95	76	54	93	94	412	61
6	北澤 葵	97	72	74	80	88	411	61
7	安藤 有紀	94	84	88	54	79	399	60
8	佐野 文弥	83	92	62	78	61	376	57
9	坂部 真菜	92	80	72	49	73	366	56
10	東 温斗	81	60	86	64	68	359	55
11	上野 真琴	84	60	62	74	73	353	55

10月14日(月)
体育の日は
全クラス休塾となります。



英検 試験日 10月13日(日)

準2・4級 10:00～ 3・5級 13:30～ 2級 14:30～

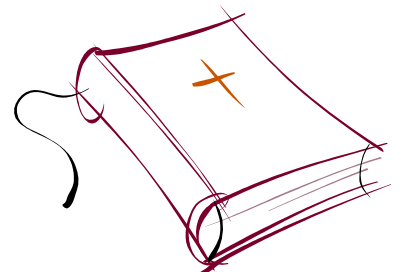
漢検 試験日 10月27日(日) **時間注意!** 2級 10:00～ 準2級 11:50～

3,5,7級 13:40～ 4,6級 15:30～ 8,9,10級 11:50～

思春期、悶々としていた時期、そう、特に高校三年生の頃は受験から逃げ出したいくて、でも逃げるわけにもいなくて、高2で好きだったテニス部を引退して勉強する時間を作ったのですが、その空いた時間で集中して勉強するでもなく。国語や英語の文系科目が嫌いで、私立理系ならあまり努力をせずに合格できるだろうと安易な考えで同志社大学へ入学しました。受験した大学の中でキャンパスを見て一番気に入ったのが同志社大学でした。京都御所と隣接している今出川キャンパス、校舎がレンガで作られていて、歴史を感じるものでした。樹木も生い茂りこんなところで勉強できたらいいなと思ったものです。その同志社の創設者は新島襄なのですが、同志社に在学中もその卒業後も、どのような流れで同志社の設立に至ったのか、建学の精神とはどういったものなのか、知らず仕舞いでした。ところが今年の大河ドラマ「八重の桜」を見て、そのいきさつを知ることになったのです。

仏教の聖地である京都に、キリスト教の精神の学校を作るということで大変苦勞をしたこと、明治維新の戦争で日本人同士が憎み合っていた時代、恨む心から許す心へ、また、武器の力でなくこれからは学問の力が世の中を動かす力だという考えを持っていたこと、様々なところで感銘を受けました。あの時、この大学に入りたいと感じたのは、何か波長が合っていたのだろうか、運命的なものを感じます。

設立当初は学生と食事をして共に語り合い、学生が大学に不満を言って来た時には、八重が「ここはみんなの学校なのです。不満があるなら、あなたたちが良いように変えていけば良いのです。」とあつけらかんと言うのです。生徒の為の先生であり、学校であるという考えが大事にされています。理由あって中退していく生徒に対しても、「退学してもあなたは大切な私の生徒なのです。」と声を掛け、学内新聞に「大人(たいじん)とならんと欲せば、自ら大人と思うことなかれ」とはなむけの言葉を記して彼を送り出します。そして、その後も交流が続いていくのです。その学生は新島を生涯の師と仰ぎ、ジャーナリストや政治家として活躍した後、「国民新聞社」を設立していきます。まさに学問の力が世を変えていったのです。このように、私の理想となる学校が私の母校だったのです。



在学中はろくに勉強もせず、自由を満喫していた自分を、今、大いに恥ずかしく思います。

連絡事項

11月4日(月)は振替休日ですが、全クラス通常通り授業を行います。

11月23日(土)は全クラス休塾とします。

2014年度のスケジュールが決まりました。大変申し訳ありませんが、消費税の増税により、新年度から授業料が値上げとなります。

某高級ホテルの食材偽装の発覚により、次から次へと偽装の実態が報道されました。高級食材の車エビと記して安いブラックタイガーというエビを使用していたとか。これは詐欺ですね。ホテルのロビーでコーヒーを頼むと高いんですね。ま、これは場所代込みの値段だろうと納得するしかないのですが、今回の事件は腹が立つのです。その一番の理由は、テレビに報道される責任者の謝罪会見の謝罪文であります。深々と頭を下げながら、多分弁護士か誰かが作成するのか、「皆様にご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。」という言葉は皆一様に口にします。「ご心配」って何ですか？誰が誰を心配するのでしょうか？「ご迷惑」って何？迷惑でなく、あなたたちはお客様を裏切ったのですよ。

本来、「皆様にご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。」というこの言葉は、病気になった人がやむなく会社を欠勤することになり、同僚にあてた手紙の一文の中に使うものではないのですか。自分の意思に反して、たまたま病気になってしまった、その為にみんなにご迷惑をかけてしまい、申し訳ない、という時に使う文言ですね。彼らの口からこの言葉を聞いても、深く反省しているとは感じません。正直に、「経営が苦しかったので利益に目がくらんでしまいました、すいませんでした。」と言ってくれた方が、少しは救いようがある気がします。この期に及んでも体裁を守る為に言い繕い、自らの保身をする。これが見苦しいのです。彼らは永い間苦勞して築いてきたお客様の信用を、お金に変えてしまったのですね。

論語に、「子曰わく 君子は義に^{さと}喩り、小人は利に^{さと}喩る」とあります。学徳とも優れた君子は義（道理にかなった正しいこと）に敏感であり、学徳のない器小なる小人は利益に敏感である。また、このような論語もあります。「子夏曰わく、小人の^{あやま}過つや、必ず^{かざ}文る」 門下の子夏が言った、学徳のない器小なる小人は過失をすると必ず巧みに言い訳をして、誤魔化すものだ。

人が人を信じられない世の中、論語教育の必要性を改めて感じました。

連絡事項

英語検定 試験日 1月26日(日) 締め切り日 12月15日(日)

漢字検定 試験日 2月 8日(土) 締め切り日 12月21日(土)

※締め切り日までに受検料を添えてお申し込みください。

締め切り日を過ぎた受け付けは一切できませんので、受検希望者は早めに申し込んでください。